

笠間市地域おこし協力隊 活動報告

No. 47



ベンチを笠間朱色に



道の市での出展

プロフィール

あきもと けんいち
秋元 健一 (40歳) 東京都より移住

地域活性化へのご協力

協力隊の活動として主となる農業振興のほか、さまざまな地域活動にも参加しています。笠間稲荷神社周辺の商店主有志が中心の「かさまち考」への参加もそのひとつです。先日は笠間稲荷神社拝殿の色である「笠間朱色」を使い、通りの景観に統一感を持たせるプロジェクトとして、ベンチを塗る活動に参加しました。

また、笠間稲荷神社周辺のお店を取材し、かさまち考のホームページに掲載するなど、情報発信にも協力しています。

さらに、6月に開催された「道の市」では準備段階から関わり、当日は私たち協力隊のPRブースも出展しました。華やかなイベントの裏側で、実行委員の皆さんの入念な準備と、実施に向けたチームワークの素晴らしさに感動しました。

今後も地域の皆さんと一緒に汗をかく活動を続けていきたいと思っています。

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

ブログやフェイスブックも
ご覧ください

ブログ ▶ <http://ameblo.jp/kasamart-wa/>

Facebook ▶ <https://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問い合わせ】まちづくり推進課 (内線 538)

地域コミュニティ活動の 活性化のために

宝くじ助成事業で備品を整備

地域の交流と活性化を図るために、(一財)自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用して、弁天町町内会は本年度、子ども用お神輿、曳き車、休台、担ぎ棒、弓張提灯、拍子木を購入しました。この助成は、宝くじの普及と広報を目的として、各地域のコミュニティ活動に必要な施設や備品の整備にあてられています。



子ども用お神輿



曳き車

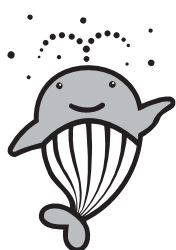


弓張提灯



拍子木

【問い合わせ】市民活動課 (内線132)



サマージャンボ7億円
サマージャンボミニ
サマージャンボプチ

(1等5億円・前後賞
各1億円合わせて)

(1等1億円)

(1等100万円)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

7月18日(火)
3種類同時発売!

発売期間 7/18(火)~
8/10(日)

各1枚 300円

公益財団法人茨城県市町村振興協会